



**シニア
CO-OP
わかやま**

組合員数 4,087名 (2018年3月31日現在)

北東西南 (NEWS)

人生の完成期、輝いて生きる!

発行所 和歌山高齢者生活協同組合

住所 和歌山市里198-1

TEL (073)488-1180

ホームページ [和歌山 高齢協](#)

[検索](#)

**総代会
特集号**

組合員のみなさんへ

平成30年5月25日

和歌山高齢者生活協同組合
理事長 田中 秀樹

第19回通常総代会開催通知

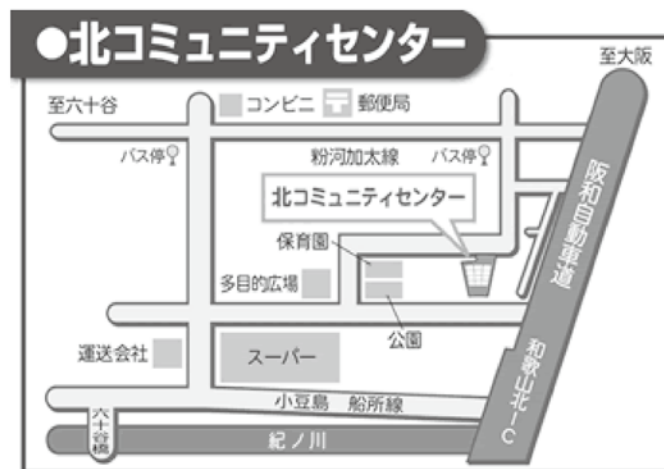
拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
組合員様のおかげをもちまして、2017年度を無事終えることが出来ました。ここに、ご協力、ご支援をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も総代110名の代議員制によります総代会開催の運びとなっております。つきましては、下記の日程により第19回通常総代会を開催いたしますので、御通知申し上げます。午後より、第2部では、公開講座としまして、「かっこつけない、本音の在宅看取り」を予定しております。こちらも是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

- 記
- | | | |
|----------|--|--|
| 1. 開催日時 | 6月16日(土)10:30~16:00
第1部 総代会
第2部 公開講座 | (受付10:00~)
10:30~12:30(予定)
13:30~16:00(予定) |
| 2. 開催場所 | 和歌山市北コミュニティセンター さんさんセンター紀の川
〒640-8481 和歌山市直川326番地の7 和歌山市さんさんセンター紀の川内
TEL:073-464-3031 | |
| 3. 付議議案他 | 第1号議案 2017年度事業報告承認の件
第2号議案 2017年度決算ならびに監査報告承認の件
第3号議案 2017年度欠損金処理案承認の件
第4号議案 2018年度事業計画決定の件
第5号議案 2018年度収支予算決定の件
第6号議案 2018年度役員報酬決定の件
第7号議案 議案決議効力発生の件 | |

以上



※公共交通機関ご利用の場合、和歌山市駅から和歌山バス84系統、「鳥井」バス停が直近になります。

○お問合せ先

〒649-6311 和歌山市里198-1
和歌山高齢者生活協同組合事務局
TEL:073-488-1180
FAX:073-488-1181

☎2018年2月に、本部事務所を移転しています。電話番号なども変わっていますので、ご注意ください。

第一号議案

二〇一七年度事業報告

1 事業・経営

〔一〕認知症・看取りを地域で支えよう

〔二〕共生型総合福祉拠点「白浜ぬくもりの里」の整備

共生型総合福祉拠点を目指し、二〇一八年四月一日より、デイサービス「ぬくもりの里」、白浜ケアプランセンターが事業開始しました。デイサービスは、利用者の方の三五日を支えるため、日曜日も営業しています。今後、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ささえ愛センターを設置し、障害者や高齢者、子供たちが集い、助け合える拠点へと発展を目指します。



域で安心して暮らし続けることができるよう、ささえ愛センターを設置し、障害者や高齢者、子供たちが集い、助け合える拠点へと発展を目指します。

〔三〕ケアの質の向上と学び・実践・発表

「慣れ親しんだ家（自宅にかわる住まい）で家族に包まれながら人生を終ろう」「認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができること」を支援するために、専門性の向上に取り組みました。各種研修受講や資格取得について推進しています。

また、職員の研修会で、各々が取り組んだ事例を発表し、学び合いの機会を設定しました。

〔二〕共生社会実現に向けて

〔一〕障害者就労継続支援B型事業所「ワークシヨップととて」

「ととて」は一周年を迎え、一〇名を超える方が利用しています。まだまだ知られていない分野の普及啓もうを進めています。

〔二〕共生型の就労の場づくり

買物・病院付き添い支援事業では、高齢者の緩やかな「生きがい就労」が行わ



れています。六次産業の事業化と合わせ検討中です。

〔三〕経営課題に取り組んでいます

大変厳しい経営状況が続いています。下半期から、経営緊急対策を実施し、改善課題が明確になってきています。

〔四〕経営目標の到達

事業高 四億一四六一万円
 経常剰余 ▲一八七二万円
 （予算比96.8%）

2 組織・運動

〔一〕共生の地域づくりに向け支え合い活動に取り組みました

〔二〕居場所づくりの活動

やまぐちささえ愛センターでは、月間のベニ五〇名を超える方が集う場になりました。いっぴく亭紀和庵では、外国の方も参加する居場所になっています。紀南庵（田辺市）の活動も一周年を迎えました。

(一) 事業所の支え合い活動

各事業所で、制度事業にとどまらない、
買物ツアーや花見、お食事会などの取
り組みが進んでいます。

事業所を応援していただけるポランテ
ィアの方々とながりを強めています。

(三) にじいろカフェ (認知症カフェ)

やまぐちささえ
愛センターでの活
動は三年目を迎え、
地域での助け合い
の活動につなげて
いこうとしていま
す。

(四) やまぐち地区での連携を強化する
ために、本部移転をおこないました

「二」命と暮らしを守る運動への参加

(一) 「平和と人権を守る」

高齢協運動の根底にあるものとして、
「平和と人権を守る」運動に、県内外の
各種団体などと連携して、様々な活動に
取り組みます。

(二) 「認知症理解をすすめる啓発活動」

RUN伴(ランとも)の取り組みなど、
認知症になっても安心して暮らせる地域
づくりに向けた取り組みに参加しました。

「三」組合員加入・出資金目標の到達

加入到達 四〇八七名
出資金到達 三八八五万八千円

「四」通信発行、ホームページ等の更新は十
分に行えませんでした。

組合員の皆さんと生協をつなぐ、通信
の発行が滞っています。問題を解決し、
早急に発行を再開する必要があります。

3 管理・運営

「二」「新人事制度」の運用と「学ぶ文化を
創出する」を両輪に、よい職場を作る

(一) 新人事制度の運用
人が育ち、事業が育つ職場づくり、能
力の向上に努め明るく前向きな職場づく
りを目指し「目標&プロセスシート」に
よる目標管理制度を導入しました。

(二) 学ぶ文化を創出する

総合的・継続的に人材育成を行うため

に、「学ぶ文化を創造する」ことを教育制
度の方針として確認し、議論しています。
今年度は、研修受講推奨と研修費用の
補助制度を整理拡充しました。

(三) 生協学習の充実

役員対象に。生活協同組合について
の学習を実施しています。

(四) 事業・組織を守る

日常業務の中での法令順守(コンプラ
イアンス)を確実に進めるための実践が
求められています。

介護保険制度に関するものだけでなく、
生協の活動全般における法令順守につい
ても、徹底していく必要があります。
事業経営を守る視点から、所長レベル
でのマネジメント学習も実施しました。



貸借対照表

和歌山高齢者生活協同組合2018年3月31日現在		(単位：円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	116,498,160	【流動負債】	51,953,339
現金・預金	46,842,877	短期借入金	5,000,000
前払費用	3,846,260	未払金	38,964,135
未収入金	61,950,097	未払費用	1,478,965
未収金	1,160,479	未払法人税等	982,500
仮払金	257,994	預り金	1,429,530
立替金	2,440,453	仮受金	1,051,809
【固定資産】	213,479,882	受入敷金	2,400,000
(有形固定資産)	184,626,931	未払消費税	646,400
建物	87,668,273	【固定負債】	271,464,683
建物附属設備	52,280,749	借入金	171,464,683
構築物	11,752,145	組合債権	100,000,000
機械・装置	8,278,864		
車両運搬具	3,424,564	負債合計	323,418,022
工具器具備品	14,079,605		
建設仮勘定	60,204,427		
減価償却累計額	▲ 53,061,696		
(無形固定資産)	19,482,951		
借地権	19,307,536		
電話加入権	175,415	純資産の部	
(その他固定資産)	9,370,000	【組合員資本】	38,858,000
出資金	215,000	出資金	38,858,000
敷金	9,051,000	【欠損金】	▲ 31,390,900
預託金	104,000	当期末処分欠損金	▲ 31,390,900
【繰延資産】	907,080	(うち当期欠損金)	▲ 18,723,714
水道加入権	907,080		
		純資産合計	7,467,100

第二号議案
二〇一七年度決算・監査報告

損益計算書

和歌山高齢者生活協同組合		(単位：円)	
2017年4月1日～2018年3月31日			
経常損益	福祉事業		
	福祉事業収入		414,612,094
	福祉事業原価		357,375,700
	事業総剰余		57,236,394
	事業経費		
	人件費	40,500,772	
	物件費	40,184,591	80,685,363
	事業剰余金		▲ 23,448,969
	事業外収益		
	受取利息	118	
	受取配当金	319	
	市民農園	26,000	
	雑収入	8,992,174	9,018,611
	事業外費用		
	支払利息	3,239,147	
雑損失	71,709	3,310,856	
経常剰余金		▲ 17,741,214	
税引前当期剰余		▲ 17,741,214	
法人税等		982,500	
当期剰余金		▲ 18,723,714	
前期繰越剰余		▲ 12,667,186	
当期末処分剰余		▲ 31,390,900	

二〇一七年度の決算は、事業収入で四億一四六一万円（前年比102.4%、予算比96.8%）、経常剰余で▲一七七四万円（前年差▲六五七万円、予算差▲一八二九万円）となりました。

事業収入については、前年実績は上回っていますが、予算達成にまでは至っていません。事業所ごとの好不調が明確に出てきています。事業経費、特に人件費のコントロールが課題となり、管理者のマネジメント能力の向上が求められます。

監査報告

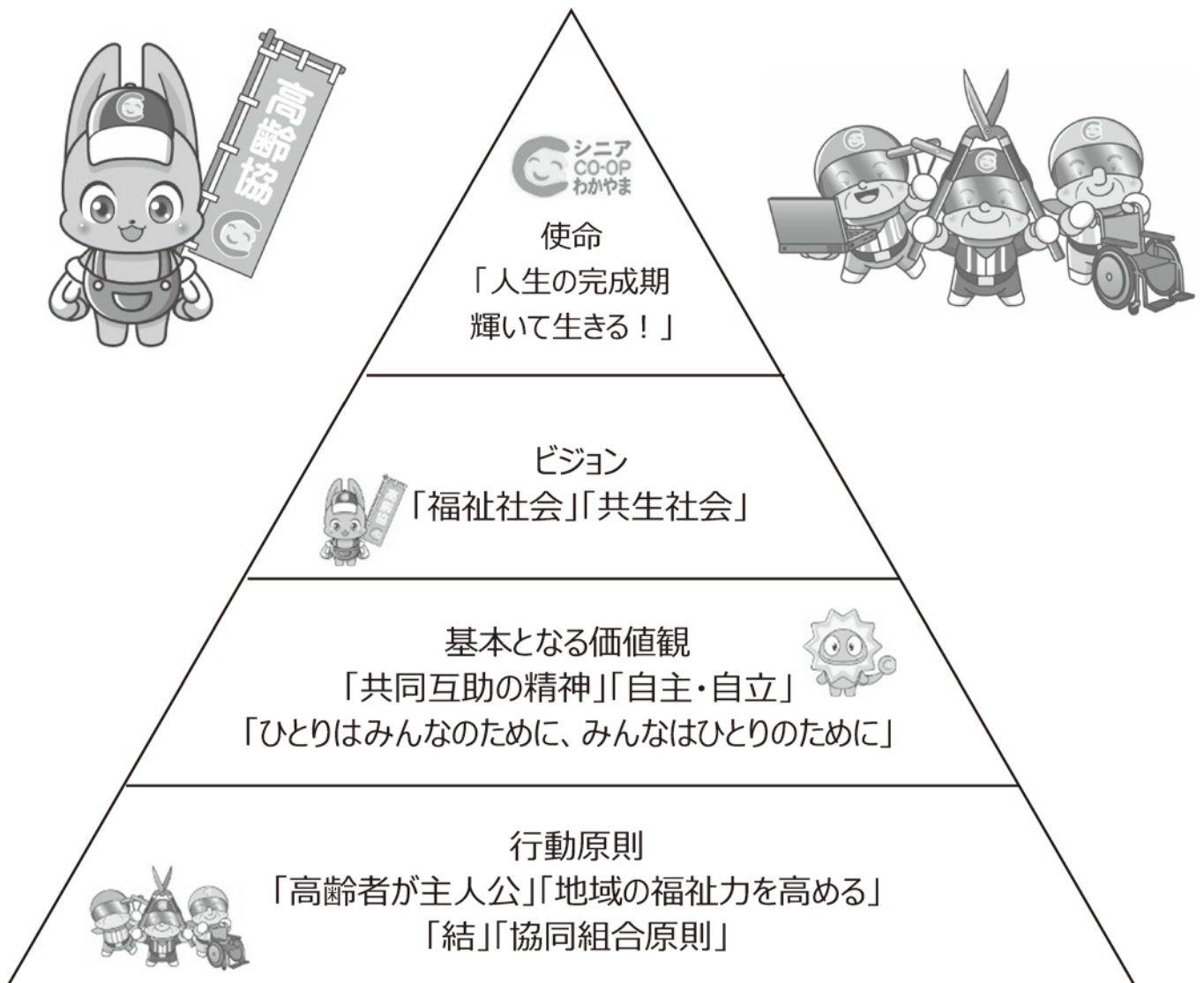
五月一二日に、本年度の監査が行われました。決算関連書類、事業報告書、附属明細書、理事の業務執行の状況などについて監査されました。

全て適切に対応されていることが確認されました。

第二号議案

二〇一七年度欠損金処理案

今年度の欠損金は、繰越欠損として、次年度への繰り越しとします。



第四号議案

二〇一八年度事業計画

二〇一八年度のテーマ

「基本姿勢」

危機感を、高齢協らしさを追求した事業活動で突破する！

事業の総合化とマネジメント強化により、変化に挑戦する！

来年の二〇周年に結実する、元気で明るい橋を架ける

四つの重点

「一」共生型総合福祉拠点の充実・整備

和歌山エリア総合化の促進

五拠点の連携発揮と黒字化

白浜エリア総合化の開始

住まい整備計画と

ささえ愛センター設置

紀北・紀中、総合化計画の整備

事業種、資金、体制計画の整備

「二」新規事業の柱の樹立（ケア以外）

「就労」を柱にした事業

制度によらない就労メニュー

「農業」を柱にした事業

元気な高齢者・障害者による

六次産業参入

「財源」を多様な方法で確保

補助金を活用し、

社会貢献事業の継続性確保

「三」地域づくりへの参入・参画

ささえ愛センター機能の充実

懇談会などで意見を集め、

実現を目指します

地域課題把握と対応連携

孤立と格差による地域課題を

把握し、連携対応します

よろず相談の自覚

相談から事業活動につなげる

サイクル試行していきます



「四」人づくり・経営改善

専門性向上と学ぶ文化創出

学習から実践に

事例発表による学び合い

やりがいある職場づくり

目標シート運用と

研修補助の整備、拡大

マネジメント向上

新人事制度およびリーダー層の

マネジメント学習

1 事業・経営

「一」認知症・看取りを

地域で支えるために

（二）共生型総合福祉拠点の整備

白浜ぬくもりの里の事業安定化と、

共生型、総合化への展開推進



「二」人生が輝くコミュニティケアの推進

- ① みんなで支えること
 - ② その人の人生が輝くこと、
この二つの視点を深めます
- 「顔の見えるネットワーク」の構築

「三」ケアの質の向上

- 生協の介護職員としての
「専門性を高めていくこと」を
目指します

学ぶ文化を創出する

教育研修制度の充実を図ります

「二」共生社会実現に向けて

- 「二」中途障害・高次脳機能障害
の方を支える
「ワークシヨップとして」の機能を
充実させ、行政や他団体との
連携も強化します



「二」共生型の就労の場づくり

- 「支え合い、ゆるやか」
働くことのできる就労の場」
づくりをすすめます

農福連携、六次産業を活かした

就労の場づくりを目指します

「三」経営目標

- 事業高目標 四億二七六七万円
(前年比103.2%)
- 経常剰余 二万円

2 組織・運動

「二」共生の地域づくりに向けて

- 「二」やまぐちささえ愛センターの活動
 - ①生活支援のネットワークを広げ、
情報発信する
 - ②支え合いの人材育成と活動の創出、
「コーディネートする」
 - ③地域とつながり仲間を増やす
 - ④交流拠点を地域・県内各地に広げる
- これら四つの機能の強化・充実を目指します。

「二」認知症の方が安心して暮らせる地域づくり

- にじいろカフェを充実発展させ、
地域づくりに貢献します

「三」白浜ささえ愛センターの設立

事業拠点の近くに設置し、

元気づくりと安心を生む活動を

を始めます

「二」生協のもつ力で地域創生

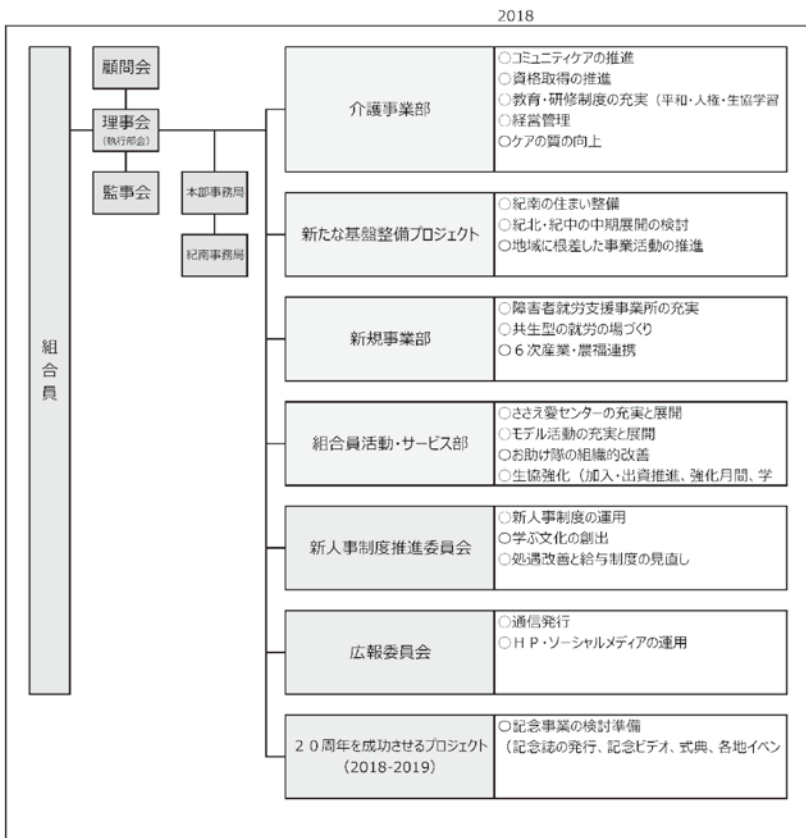
- 「一」お助け隊の組織的改善
- 高齢協ならではの組合員活動らしく、
再整備していきます

「二」学習を基本に

- 「自立」と「連帯」に基づく活動を旺盛に進めるため、社会課題についても学習をすすめます

「三」平和と人権を守るために

- 「平和」、「人権」、「社会保障」をテーマに、学びを深め、行動をできるよう、働きかけを強めます



「二」執行体制

3 管理・運営

「四」組合員・出資目標

加入到達目標

四二八七名

出資金到達目標

(純増 二〇〇名)
四〇五〇万円
(純増 一六五万円)

「二」人が育ち、事業が育つ職場づくり

(一)新人事制度の運用

「新たな人事制度」を段階的に導入します

一丸となって目標を達成する職場づくり、自らが成長し前向きに働く職場づくりをすすめます

(二)学ぶ文化の創出

研修制度の充実、やりがいのある職場づくりを推進し、「学ぶ文化」のある職場づくりを目指します



第五号議案

二〇一八年度予算

二〇一八年度の収支予算については、事業収入四億二七六七万円(予算化率103.2%)をめざし、経常剰余は二万円とします。

全事業所での必達予算とし、経常剰余での単年度黒字化を目指します。

第六号議案

二〇一八年度役員報酬

生活協同組合では、役員への報酬総額を総代会で議決する必要があります。例年並みの考え方での提案となります。

第七号議案

議案決議効力発生

総代会における議決事項の字句・文言について、行政手続きなどで趣旨を行わない範囲で修正することを、理事会に一任していただきます。